

南アメリカ・オセアニア 州プリント

名前

- 問1 世界を地理的なまとまりによって六つの州に区分したとき、アフリカ、ヨーロッパ、アジア、北アメリカ、南アメリカと並び、オーストラリア大陸とその周辺の太平洋の島々を含めて構成される州の名称を答えなさい。（2018年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 1. アジア州 | 2. オセアニア州 | 3. アフリカ州 | 4. 南アメリカ州 |
|---------|-----------|----------|-----------|
- 問2 南アメリカのアンデス山脈において、標高3000mを超える高地で行われている主な土地利用の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------|--------------------|-----------------------|--------------------------|
| 1. 天然ゴムの採取と、焼畑によるトウモロコシ栽培 | 2. 稲作と、輸出用としての茶の栽培 | 3. サトウキビの大規模な栽培と、牛の放牧 | 4. リヤマやアルパカの放牧と、じゃがいもの栽培 |
|---------------------------|--------------------|-----------------------|--------------------------|
- 問3 南アメリカやアフリカの発展途上国に見られる、特定の農産物や鉱産資源といった「一次産品」の輸出に、国の経済が過度に依存している状態を何と呼びますか。（2023年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|------------|---------|------------|
| 1. モノカルチャー経済 | 2. 持続可能な開発 | 3. 加工貿易 | 4. フェアトレード |
|--------------|------------|---------|------------|
- 問4 ブラジルの首都ブラジリアについて、その建設の背景や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 内陸部の開発を目的として計画的に建設され、近代的な都市景観が世界遺産に登録されている。 | 2. 植民地時代から続く歴史的な港町であり、コーヒーの輸出拠点として発展した旧首都である。 | 3. アマゾン川の河口付近に位置し、熱帯雨林の保護と観光の拠点として建設された都市である。 | 4. ブラジル最大の人口を抱える経済の中心地であり、多くの日系人が居住している都市である。 |
|--|---|---|---|
- 問5 南アメリカに位置するペルーとボリビアの貿易構造について、2012年の統計データを踏まえた説明として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2016年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. ペルーとボリビアは、ともに輸出総額の半分以上をコーヒーや大豆などの農産物が占めている。 | 2. ペルーの輸出第1位の品目は原油であり、ボリビアは銀鉱が輸出の約5割を占めている。 | 3. ペルーとボリビアは、ともに工業製品の輸出額が鉱産資源の輸出額を大きく上回っている。 | 4. ペルーの輸出第1位の品目は金であり、ボリビアの輸出第1位の品目は天然ガスである。 |
|--|---|--|---|
- 問6 主要国の総発電量内訳を示したデータにおいて、ブラジルは水力発電の割合が全体の約6割から7割を占めており、火力発電や原子力発電に依存する日本やアメリカと比較して非常に高い水準にあります。ブラジルでこのように水力発電が盛んな理由として、最も適切な背景はどれですか。（2023年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 国土の大部分が平坦な低地であるため、流れの緩やかな河川を利用した潮流発電が全国的に普及しているため | 2. 化石燃料の埋蔵量が世界最小であるため、国策として火力発電所の建設が法律で禁止されているため | 3. アンデス山脈から流れ出る急流を利用するため、隣国であるチリやペルーから電力を全量輸入しているため | 4. アマゾン川に代表される豊かな水資源に加え、高低差のある地形を活かした大規模なダム建設が行われてきたため |
|--|--|---|--|
- 問7 世界の農産物生産に関する統計資料において、生産量第1位がブラジル、第2位がインド、第3位が中国となっており、主に熱帯や亜熱帯の地域で栽培されている農作物はどれですか。（2022年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|------|----------|-----------|
| 1. 小麦 | 2. 茶 | 3. さとうきび | 4. とうもろこし |
|-------|------|----------|-----------|
- 問8 オーストラリアへの移民の出身地域に関する変化について、1940年代から1970年代前半までの状況と比較して、1970年代後半以降に顕著に見られるようになった特徴として正しいものはどれか。（2016年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|------------------------------------|---|--|
| 1. アフリカ諸国からの労働力としての移民が、全移民の半数を超えるようになった。 | 2. アジアや東南アジア、オセアニア諸国からの移民が大幅に増加した。 | 3. 北アメリカや南アメリカからの移民が、ヨーロッパからの移民の数を上回った。 | 4. イギリスやアイルランドなどのヨーロッパ出身の移民がさらに高い割合を占めるようになった。 |
|--|------------------------------------|---|--|
- 問9 南アメリカ大陸の地形と農業について述べた次の文のうち、アルゼンチンに広がる平原「パンパ」の特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 乾燥した気候の草原地帯で、かつては大規模な綿花栽培が行われていた北アメリカ中央部の地域である。 | 2. 熱帯雨林が広がる広大な低地で、世界最大の流域面積を持つ河川が流れている。 | 3. 標高の高い高原地帯で、古くからジャガイモの原産地として知られ、アンデス山脈に隣接している。 | 4. 温帯に属する広大な草原で、肥沃な土壌を活かして小麦栽培や肉牛の飼育が行われている。 |
|--|---|--|--|
- 問10 ブラジルの農業の現状と特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. アマゾン川流域の熱帯雨林において、現在も天然ゴムの採取が国家の輸出額の大部分を占めている。 | 2. 肉牛の肥育効率を高めるため、フィードロットと呼ばれる施設に牛を集めて穀物を与える方式が主流である。 | 3. 広大な土地と大型機械を利用した大豆などの生産が盛んで、世界有数の輸出大国となっている。 | 4. 西アフリカ諸国と同様にカカオの栽培を主軸としており、小規模な農家による手作業が中心である。 |
|--|--|--|--|
- 問11 オーストラリアでは、かつてヨーロッパ系以外の移民を厳しく制限し、白人中心の社会を維持しようとする政策がとられていました。しかし、1970年代にこの政策が廃止されると、アジアなど世界各地からの移民を受け入れ、互いの文化の違いを認め合う社会を目指すようになりました。この、かつて行われていた白人優先の移民制限政策を何といいますか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|---------|------------|
| 1. 人種隔離政策 | 2. 白豪主義 | 3. 保護貿易 | 4. アパルトヘイト |
|-----------|---------|---------|------------|
- 問12 ニュージーランドの地形の特徴と日本との貿易関係について説明した文として、適切なものはどれですか。なお、日本におけるニュージーランドからの果実の輸入額は、1999年の約154億円から2019年には約459億円へと約3倍に増加しています。（2021年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 安定陸塊に位置するため大規模な地殻変動がなく、南島の海岸部には広大な砂州が見られ、日本へはブドウなどのワイン用果実の輸入額が1990年代から半減している。 | 2. 安定陸塊に位置するため平坦な土地が広がり、南島の海岸部にはサンゴ礁が発達しており、日本へはオレンジなどの柑橘類の輸出が急激に減少している。 | 3. 環太平洋造山帯に位置するため険しい山地が多く、南島の海岸部には氷河に削られた複雑な地形であるフィヨルドが見られ、日本へはキウイフルーツなどの果実の輸出が増えている。 | 4. 環太平洋造山帯に位置するため火山活動が活発で、北島の海岸部には土砂が堆積してできたリアス海岸が広がり、日本へはバナナなどの熱帯果実の輸出が中心となっている。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 オセアニア州	世界の地域区分は、大きな大陸や文化的なまとまりに基づいて六つに分けられます。このうち、オーストラリア大陸、ニュージーランド、および太平洋に点在するミクロネシア、メラネシア、ポリネシアの島々を総称してオセアニア州と呼びます。六つの州の中で、最も陸地面積が小さいのが特徴です。
問2	答え 4 リヤマやアルパカの放牧と、じゃがいもの栽培	アンデス高地は標高が高いために気温が低く、寒冷な気候条件となっています。このような環境に適応するため、高地では寒さに強い家畜であるリヤマやアルパカの放牧が行われ、食料としては低温でも育つじゃがいもが主に栽培されています。サトウキビや天然ゴムは低地の熱帯気候に適した作物であるため、高地での栽培には適しません。
問3	答え 1 モノカルチャー経済	特定の農産物（コーヒーやバナナなど）や鉱産資源（鉄鉱石や銅など）の輸出に頼る経済構造を指します。19世紀から20世紀にかけての植民地支配の影響で、本国に有利な産品を集中して生産させられた歴史的背景があります。現在では、輸出額の大部分を少数の品目が占める状況を改善するため、産業の多角化が課題となっています。
問4	答え 1 内陸部の開発を目的として計画的に建設され、近代的な都市景観が世界遺産に登録されている。	ブラジル政府は、沿岸部と内陸部の格差を是正するために、未開発だった内陸の高地にブラジリアを建設しました。この都市はルシオ・コスタの都市計画とオスカー・ニーマイヤーの建築によってデザインされ、1987年に世界遺産（文化遺産）となりました。リオデジャネイロは1960年までの旧首都、サンパウロは南米最大の経済都市という特徴があります。
問5	答え 4 ペルーの輸出第1位の品目は金であり、ボリビアの輸出第1位の品目は天然ガスである。	南アメリカのアンデス山脈周辺の国々は、豊かな鉱産資源の輸出に頼る傾向があります。2012年の統計において、ペルーでは金が輸出全体の約21%を占めて第1位となっており、次いで銅鉱などの輸出が盛んです。一方、ボリビアでは天然ガスが輸出全体の約46%を占めており、経済の大きな柱となっています。農産物や工業製品ではなく、鉱産資源やエネルギー資源が輸出の中心となっているのがこの地域の特徴です。
問6	答え 4 アマゾン川に代表される豊かな水資源に加え、高低差のある地形を活かした大規模なダム建設が行われてきたため	ブラジルは世界最大級の流域面積を持つアマゾン川やパラナ川などの大河川に恵まれており、さらにブラジル高原のような起伏のある地形が存在するため、水力発電に適しています。イタイプダムなどの巨大な発電施設を建設・運用することで、国内電力の大部分を再生可能エネルギーである水力で賄う構造が作られました。これに対し、日本やアメリカは化石燃料による火力発電の比率が高いという違いがあります。
問7	答え 3 さとうきび	さとうきびは高温多湿な熱帯や亜熱帯の気候に適した作物です。統計ではブラジルが世界最大の生産国であり、インドやタイ、パキスタンといったアジア諸国も上位に名を連ねています。同じくブラジルで生産が盛んなコーヒーと混同しやすいですが、アジア諸国が上位に並ぶ点がさとうきびの特徴です。
問8	答え 2 アジアや東南アジア、オセアニア諸国からの移民が大幅に増加した。	オーストラリアでは、第二次世界大戦後から1970年代前半にかけてはイギリスやアイルランドなどヨーロッパ出身の移民が圧倒的多数を占めていました。しかし、1970年代後半以降はそれまでの白人優先の政策（白豪主義）から、多様な文化を認める「多文化主義」へと方針を転換したため、地理的に近いアジアや東南アジア、近隣のオセアニアからの移民が急増しました。
問9	答え 4 温帯に属する広大な草原で、肥沃な土壌を活かして小麦栽培や肉牛の飼育が行われている。	パンパはアルゼンチン南東部に位置する広大な温帯平原です。降水量が適度で土壌が肥沃であるため、アルゼンチンは牛肉や小麦の世界的な輸出拠点となっています。選択肢にある「熱帯雨林の低地」はアマゾン盆地のセルバを、「標高の高い高原」はアンデス山脈やブラジル高原などを指すため、パンパの説明としては不適切です。
問10	答え 3 広大な土地と大型機械を利用した大豆などの生産が盛んで、世界有数の輸出大国となっている。	ブラジルは広大な国土と平坦な地形を活かし、内陸部の開発を通じて大規模な機械化農業を確立しました。これにより、大豆やトウモロコシ、牛肉などの世界的な供給源となっています。フィードロットは主にアメリカ合衆国やオーストラリアで見られる手法であり、天然ゴムは歴史的には重要でしたが現在は東南アジアが主産地です。また、カカオの主産地はコートジボワールなどのギニア湾沿岸地域です。
問11	答え 2 白豪主義	オーストラリアは1901年の連邦成立以来、白人以外の移民を制限する「白豪主義」を国是としていました。しかし、第二次世界大戦後の労働力不足や、地理的に近いアジア諸国との経済的な関係を重視する必要性が高まったことから、1970年代にこの政策は完全に廃止されました。アパルトヘイトは南アフリカ共和国で行われていた人種隔離政策であり、混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 3 環太平洋造山帯に位置するため険しい山地が多く、南島の海岸部には氷河に削られた複雑な地形であるフィヨルドが見られ、日本へはキウイフルーツなどの果実の輸出が増えている。	ニュージーランドは日本と同じく環太平洋造山帯に属しており、山がちで急峻な地形が特徴です。特に南島の南西部には、かつて氷河によって削られたU字谷に海水が入り込んで形成された「フィヨルド」と呼ばれる美しい景観が広がっています。また、日本との貿易では季節が逆であることを活かした農産物の輸出が盛んで、統計からもわかる通り、キウイフルーツをはじめとした果実の輸出額がこの20年で大きく伸びています。